

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 マックスバリュ九州株式会社
 コード番号 3171 URL <http://www.mv-kyushu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐々木 勉
 (氏名) 篠崎 岳

TEL 092-433-1228

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	108,961	4.0	494	△50.5	511	△50.0	133	△66.5
26年2月期第3四半期	104,808	—	998	—	1,023	—	397	—

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 145百万円 (△64.7%) 26年2月期第3四半期 411百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	17.72	17.65
26年2月期第3四半期	52.86	52.75

(注) 当社グループは平成26年2月期第2四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年2月期第3四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	35,126	11,611	33.0	1,537.56
26年2月期	32,231	11,738	36.3	1,556.43

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 11,578百万円 26年2月期 11,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	38.00	38.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	—	2,149	—	2,146	—	1,000	—	132.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループは平成26年2月期第2四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期3Q	7,530,695 株	26年2月期	7,527,195 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期3Q	37 株	26年2月期	37 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期3Q	7,527,959 株	26年2月期3Q	7,527,158 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、4月の消費税増税による消費支出の冷え込みと消費者の価格志向の強まり、および冷夏・天候不順の影響による盛夏商品の売上ダウンの影響を大きく受けるとともに、人口減・少子高齢化によるマーケット縮小、異業態の食品市場進出による競争激化により、当社グループ（当社及び連結子会社）を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

当社グループはこのような経営環境のなか、「九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というスローガンのもと、新規出店並びに既存店の活性化を実施するとともに、成長の原資を確保し熾烈な競争に打ち勝つための収益構造の改革に取り組んでまいりました。

成長の要となる新規出店としまして、7月にマックスバリュエクスプレス松木店（鹿児島県）、9月にマックスバリュ黒崎店（福岡県）、10月にマックスバリュくりえいと宗像店（福岡県）、11月にマックスバリュ橘通西店（宮崎県）を開店し、マックスバリュ新土河原店（熊本県）を、ザ・ビッグエクスプレス新土河原店に業態転換いたしました。また、既存店を活性化して収益力の改善を図るため、15店舗の改装を実施いたしました。

営業面におきましては、消費税増税の影響を軽減するため、WAONカードを活用した販売促進を行いました。新規出店に合わせて、地方自治体の協力によりご当地WAONカードの新規発売を実施するとともに、ポイントセールの実施やお取引先さまとの協働によるボーナスポイントの付与により、需要喚起を図りました。商品面におきましても、お客さまのライフスタイルの変化に合わせ、生鮮素材に加えて簡便食材の拡充を図り、惣菜パイキング「マックスバリュビュッフェ」の導入推進や、冷凍食品・レディミールの品揃えの見直しと拡大を図りました。

販売費及び一般管理費につきましては、電気料金の更なる値上げや消費税増税に伴う一時的な経費の発生がありましたが、冷夏による電気使用量の減少及び原油価格安定による燃料単価の上げ止まり、業務見直しによる総労働時間の効率化等によりコスト削減を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高108,961百万円（対前年同四半期比104.0%）、営業利益494百万円（対前年同四半期比49.5%）、経常利益511百万円（対前年同四半期比50.0%）、四半期純利益133百万円（対前年同四半期比33.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,894百万円増加し、35,126百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から2,726百万円増加し、13,226百万円となりました。主な要因は、当第3四半期連結会計期間末が金融機関休業日のため、現金及び預金が2,003百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末から168百万円増加し、21,899百万円となりました。主な要因は、新規出店等により有形固定資産が298百万円増加したものの、回収等により差入保証金が115百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3,021百万円増加し、23,514百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から3,306百万円増加し、20,438百万円となりました。主な要因は、当第3四半期連結会計期間末が金融機関休業日のため、支払手形及び買掛金が未決済となったことにより3,145百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末から285百万円減少し、3,076百万円となりました。主な要因は、借入金の返済により長期借入金が145百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ126百万円減少し、11,611百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が四半期純利益の計上により133百万円増加したものの配当金の支払いにより286百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の通期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成26年4月8日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,874	5,878
売掛金	1,281	1,588
たな卸資産	3,536	3,831
その他	1,808	1,928
流動資産合計	10,500	13,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,275	9,313
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	2,310	2,604
土地	2,960	2,959
その他（純額）	258	224
有形固定資産合計	14,804	15,102
無形固定資産		
のれん	439	422
その他	36	31
無形固定資産合計	476	454
投資その他の資産		
差入保証金	4,495	4,379
その他	1,954	1,962
投資その他の資産合計	6,449	6,342
固定資産合計	21,730	21,899
資産合計	32,231	35,126
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,815	13,960
短期借入金	130	-
1年内返済予定の長期借入金	750	650
引当金	168	418
その他	5,267	5,408
流動負債合計	17,131	20,438
固定負債		
長期借入金	1,370	1,225
引当金	153	122
資産除去債務	656	683
その他	1,182	1,045
固定負債合計	3,361	3,076
負債合計	20,493	23,514

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,589
資本剰余金	1,432	1,434
利益剰余金	8,563	8,410
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,583	11,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132	144
その他の包括利益累計額合計	132	144
新株予約権	22	32
純資産合計	11,738	11,611
負債純資産合計	32,231	35,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	104,808	108,961
売上原価	80,528	83,908
売上総利益	24,279	25,052
その他の営業収入	1,245	1,264
営業総利益	25,525	26,317
販売費及び一般管理費	24,526	25,823
営業利益	998	494
営業外収益		
受取利息	17	17
受取配当金	4	4
保険解約返戻金	15	-
受取保険金	5	10
その他	13	13
営業外収益合計	55	46
営業外費用		
支払利息	22	18
その他	8	9
営業外費用合計	30	28
経常利益	1,023	511
特別利益		
固定資産売却益	2	8
特別利益合計	2	8
特別損失		
固定資産除却損	12	17
減損損失	87	81
店舗閉鎖損失引当金繰入額	77	-
特別損失合計	177	99
税金等調整前四半期純利益	848	420
法人税、住民税及び事業税	509	287
法人税等調整額	△58	△0
法人税等合計	450	287
少数株主損益調整前四半期純利益	397	133
四半期純利益	397	133

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	397	133
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	14	11
その他の包括利益合計	14	11
四半期包括利益	411	145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	411	145

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品及び日用雑貨品を主に販売するスーパーマーケット事業及びその付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。